

～フローリング掃除の正しい方法は??～

お手入れしやすく、清潔を保ちやすいように見えるフローリング床ですが、掃除にはいくつかのコツがあるようです。

適切な掃除の目安や正しい手順、などをご紹介します。正しい方法を知り、簡単にケアできるようお役立て下さい。

<水拭きは基本です。しかし!>

フローリングとは、木質系床の仕上げ材の総称です。「木質系」とくられるのは、**無垢の「木」そのものではないことが多い**からです。

大半は、合板（薄くむいた原木を接着剤で張り合わせたもの）による**“複合フローリング”**であり、“割れない・反りづらい”などメリットがありますが、**内部まで水分が入ると変形してしまう恐れ**があります。



無垢材の「単層フローリング」も、表面を自然塗料や油分などでコーティングしてあるものが、水拭きによって剥離（はくり）してしまう恐れがあります。

ただ、**水拭きは繊細な汚れを掃除するには合理的な方法**ですので、掃除全体のポイントを押さえ、正しい手順で行うことが大切です。

<注意点は2点!>

- ◎ **かたく絞った、薄めのぞうきんで行なうこと**
- ◎ **短時間で行なうこと**

薄めのフェイスタオルを半分に切った大きさの雑巾が、床拭きの使い勝手では一番効率が良いそうです。**ビショビショのぞうきんやモップでグチャグチャ掃除をするのはフローリングにとって大敵**です！

また、**掃除を始めたら一気に終わることもポイント**。できれば窓を開け換気し、乾燥を促しながら行なうのがオススメです。

～洗剤ではなく、アロマオイル～

「水で拭いただけでは物足りない」という場合は、**アロマオイルとクエン酸（酢）を使ったスプレーを併用**してみるのが良いそうです。この時使うエッセンシャルオイルは“ユーカリやヒノキ”など、**香りが爽やかで衛生効果の高いものを選ぶと良い**です。

クエン酸5グラムを入れたスプレーボトルに、100グラムになるまで水道水を入れアロマオイルを5滴ほど垂らしてよく振った液体を、**床にスプレーしながらすばやく拭き取っていきます**。

<ワックスがけする場合の注意点>

水ぶきだけでは物足りなく、フローリングの維持や美観保持のためにもワックスをかけたいという方も多いと思います。

一般的な家庭用のウレタンやアクリルといった樹脂系のワックスをかける場合には、以下の点に注意して行うと良いでしょう。



- 気温の低い日や湿気の高い日は避けて行う
- ワックスかけの間は床に直射日光が当たらないよう、カーテンを閉める（ムラ防止）
- ワックスが乾燥するまでは窓、ドアも閉めておく（その後にシッカリ換気する）
- 掃除機がけ、洗剤拭き、水ぶき、乾拭き、乾燥の後にワックスを塗る順序を守る
- なるべく半年に一度塗り重ね、3～5年毎には古いワックスを剥離する

最後に!

フローリング掃除が楽になる便利グッズ



「クイックルワイパー」と言えば、皆さんご存じだと思いますが、定番はモップ類になると思います。使い捨ての不織布素材の他、洗って繰り返し使えるマイクロファイバーの物もあります。

水拭きだけで物足りない場合は、スプレータイプの汚れ落としがオススメ。例えば「水の激落ちくん」は、アルコールスプレーに比べて刺激的な匂いがなく、フローリング以外に壁、廊下や玄関の扉、家具や冷蔵庫側面などにも使用でき、**お部屋丸ごときれいにする**ことが可能です。

場所や用途により使い分けすると便利ですね！

お住まいの困り事 ありませんか？

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立てます！

～土地・建物のよろず屋～



マルヒロ不動産(株)

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628



<https://maruhiro2103.co.jp>